

第2期 事業報告

(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

はじめに

今期は、公益財団法人こしじ水と緑の会の第1期事業報告を申請・承認をえる年度であった。これを整えることで、移行認定に伴う公益法人の一通りの管理手順を終えることができた。今後は、移行後の認定内容を見直し、円滑に運用できるよう努める。

財団関係の主な事業としては「第8回自然保護助成基金成果発表会」「第10回自然保護助成基金選考結果報告会」の開催。新建屋の建設事業では、平成24年春からの新建屋建設に向けて、7月に現建屋の解体・撤去を完了、建設予定地について再測量を行い、地目変更及び土地登記を合わせて完了した。また、株式会社長建設計事務所に設計を依頼。第3期春先の着工に向けて、設計に向けた協議を開始。建設資金の調達について新潟県と調整し、資産改良等に関わる関係書類を調えた。なお、第3期の事業計画については、9月17日に公益法人 information より新潟県へ届出を完了している。

□公益法人移行認定後の法規順守関係について

1. 平成22年10月14日付にて、第2期事業計画書(補正・修正)を新潟県へ提出する。
2. 平成22年11月9日付にて、新潟県による事業計画書の確認が完了する。
3. 平成22年12月16日付にて、第1期事業報告書を新潟県へ提出する。
4. 平成22年12月31日までに、指定された閲覧書類を主たる事務局に備える。
5. 平成23年3月9日付にて、収益事業終了にともなう変更認定を新潟県公益認定等審議会へ申請する。
6. 平成23年3月30日付にて、新潟県より審査処理を受付ける。
7. 平成23年5月17日付にて、新潟県公益認定等審議会より変更認定の答申を受ける。
8. 平成23年5月20日付にて、新潟県より認定の公示を受ける。
9. 平成23年9月21日付にて、第3期事業計画書を提出する。
10. 平成23年9月26日付にて、税額控除に係る証明について申請する。

I. 公益事業

公1. 「こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金」について

(1) 第10回 こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金

□一般助成

- ・応募期間：平成22年11月1日～平成23年1月20日
- ・選考：選考委員会にて応募を受付けた25件について選考、15件を採択・助成。
- ・交付：平成23年3月26日(土)に選考結果報告会を開催。
- ・助成金総額：7,453,180円

「第 10 回 こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金」助成先一覧

(敬称略)

No.	団体名	決定額	活動名
1	樋口正仁	500,000	新潟県産カンキョウカジカの保全遺伝学的研究
2	帆苺信	500,000	鳥野野潟の水質浄化に向けた研究
3	越佐昆虫同好会	500,000	「文献から見た新潟県のチョウ相」の研究及び出版
4	イバラトミヨ・水芭蕉の会	500,000	地本湧水の水環境と小動物の調査活動並びに調査報告書の発行
5	新潟ワイルドライフリサーチ	499,140	鳥獣害シンポジウムの開催とツキノワグマの大量出没対策のための生態調査
6	松之山野鳥愛護会	493,980	松之山における絶滅危惧種ブッポウソウをはじめとする鳥相の調査と保護活動
7	白井正樹	460,060	日本海で繁殖するオオミズナギドリの採餌行動に関する調査
8	早水悠	500,000	千曲川上流域～中流域における土壌流出に関する調査
9	福島純平	500,000	越後平野の水田地域に生息する淡水魚類の効率的な保全策の提案
10	しただ郷自然くらぶ	500,000	ヒメサユリの小径、エコツーリズムのための調査及びガイドマップ作成
11	田海ヶ池 トンボを守る会	500,000	田海ヶ池におけるオオクチバスの駆除活動
12	指村奈穂子	500,000	エゾヒョウタンボクの保全に向けた希少性の周知と現地外保存の検討
13	NPO 法人かみえちご山里ファン倶楽部	500,000	くわどり市民の森における自然資源リストおよび啓発リーフレットの作成～10年間の調査・記録のまとめ～
14	佐藤雄大	500,000	新潟県に生息するコキクガシラコウモリの生態特性と生態特性を指標とした個体群保全に関する研究
15	新潟県生物教育研究会	500,000	小中学校教員を対象とした植物観察会の実施

(2) 第 8 回 こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金成果発表会

期 日：平成 22 年 11 月 27 日（土）

会 場：朝日酒造株式会社 2 F 会議室

内 容：第 8 回助成事業の期間満了を受けての、採択 15 団体・個人による公開成果発表会及び交流会。

参加者：36 名（採択団体・個人 15 団体、理事・評議員・事務局、一般）

イベントスタッフ：1 名

(3) 第 10 回 (財)こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金選考結果報告会

期 日：平成 23 年 3 月 26 日（土）

会 場：朝日酒造 事務棟 2 F 会議室

内 容：第 10 回助成基金採択 15 団体・個人への交付書の交付と活動計画の発表会。

参加者：29 名（助成先団体・個人 15 団体、理事・評議員・事務局）

イベントスタッフ：3 名

公2. 「巴ヶ丘及び朝日城の森周辺地におけるモニタリングサイト 1000 調査」について

財団の粕谷理事、事務局にて「植物（開花結実）調査」「鳥類調査」を実施。

(1) 鳥類調査

粕谷与止男理事、西山 拓(事務局)にて実施
期 間：繁殖期、越冬期の早朝に調査を実施

- ・ H22.12.25 越冬期調査 1 回目 2 名
- ・ H23.01.08 越冬期調査 2 回目 2 名
- ・ H23.05.15 繁殖期調査 1 回目 2 名
- ・ H23.05.28 繁殖期調査 2 回目 1 名

(2) 植物調査

ボランティア調査員（新潟県自然観察指導員の会）、西山 拓(事務局)にて実施
期 間：春から秋まで「植物（開花結実）調査」を実施

- ・ H23. 04. 09 モニタリングサイト 1000 調査 中止（残雪のため）
- ・ H23. 05. 28 モニタリングサイト 1000 調査 4 名
- ・ H23. 06. 11 モニタリングサイト 1000 調査 3 名
- ・ H23. 07. 09 モニタリングサイト 1000 調査 4 名
- ・ H23. 08. 20 モニタリングサイト 1000 調査 2 名
- ・ H23. 09. 10 モニタリングサイト 1000 調査 3 名

公3.「渋海川の環境保全のあり方を考える調査研究事業」について

「渋海川の生物調査」

外部専門家へ調査を依頼し、事務局にて主に魚類調査を実施。

委託先：(有) ネイチャーワーク 代表 井上信夫

調査期日：平成 22 年 11 月 7 日（日）～9 日（火） 秋季調査
：平成 23 年 8 月 29 日（月）～30 日（火） 夏季調査

公4.「水と緑の自然学校の開催」について

(1) 酒文化に親しむ自然学校

期 日：平成 22 年 10 月 16 日（土）

会 場：朝日城の森

内 容：自然観察、酒林づくり

参加者：9 名

イベントスタッフ：2 名

(2) 草花あそびと樹木博士に挑戦

期 日：平成 23 年 5 月 14 日（土）

会 場：巴ヶ丘自然公園

内 容：草花あそびと樹木博士認定活動

参加者：4 名

※ 4 月 16 日（土）「きのこのコマ打ち体験」は、会場の残雪過多により中止。

※ 8 月 6 日（土）「渋海川で川遊び」は、渋海川水害の影響と増水により中止。

公5.「ホームページ及び情報誌の活用事業」について

(1)情報誌の発行

当初計画通り、隔月年6回、1,000部を発行した。

- ・平成22年11月15日 第6号 巻頭テーマ：「地域と自然とのかかわり（須川の川狩り）」
執筆者：評議員 山崎 知則
- ・平成23年1月15日 第7号 巻頭テーマ：「新年を迎えて」
執筆者：専務理事 松井 進一
- ・平成23年3月15日 第8号 巻頭テーマ：「生物多様性と土壌微生物」
執筆者：理事 及川紀久雄
- ・平成23年5月15日 第9号 巻頭テーマ：「2011年3月11日 巨大地震に思う」
執筆者：理事 大熊 孝
- ・平成23年7月15日 第10号 巻頭テーマ：「信濃川砂漠のその後」
執筆者：前評議員 佐野 良吉
- ・平成23年9月15日 第11号 巻頭テーマ：「百姓に学ぶ生き方」
執筆者：評議員 小林 康生

(2)財団ホームページの情報更新の実施。

※添付資料：アクセス集計

公6.「里山の保全と活用機会を伝え広げる事業」について

- ・春の里山に親しむ会の開催

期日：4月24日（日）9:00～13:30

会場：朝日城の森

内容：自然観察（成人）、ネイチャーゲーム等（親子対象）

参加者：45名

- ・炊飯棟周辺の倒木・不要木・落ち枝等を撤去する環境整備を、スズメバチ等の営巣予防を兼ねて実施。

- ・「朝日城の森」定期管理として草刈り作業を実施

期日：平成23年5月31日、8月11日、9月17日の3回を実施。

- ・企業研修の受入れによる森林整備活動

期日：平成23年6月1日、2日、9日、15日、16日の5回を実施。

参加者：50名（朝日酒造株式会社の社員）

内容：朝日城の森に親しみ・守る活動として、「樹木に親しみ・観察するプログラム(ネイチャーゲーム)」
及び「林床の手入れ作業」を実施した。

- ・その他の森林整備活動の受入

朝日会による森林整備活動

期日：平成23年6月7日

参加者：67名

Ⅱ. その他事業

1. 寄付事業について

寄付受入及び寄付者対応について、新潟県の指導を得ながら、業務フロー及び書式を整え、下期より運用する。

寄附金・会費（平成22年10月1日～平成23年9月30日迄）

・会費		1,704,000円
・寄附金	71件	11,987,712円

2. 「(仮称)水と緑の家」について

本年7月、登記番地にある財団の建屋を壊し、更地とした。第3期春より新建屋の建設に着手するため、株式会社長建設事務所により、設計をお願いしている。

※第3期の事業計画にて、総工費4,000万円を計上している。

Ⅲ. その他

財団の動態

・会員数の現状（平成23年9月30日現在）

① 個人会員	565名
② 法人会員	82名
計	<u>647名</u>

(参考) 第1期末（平成22年9月30日現在）

① 個人会員	583名
② 法人会員	84名
計	<u>667名</u>

以上